

■平成25年度 農村工学研究所一般公開（報告）

東日本大震災から二年が経過した今年は、来場者に様々な体験して頂こうという意図から、例年より多くの体験型展示を準備しました。

震災に関連した「津波の実験」や「液状化の模型実験」、「災害調査体験」など、身近に震災を考えるきっかけとなる展示は、来所の皆様に大変好評をいただきました。さらに、日頃の農村工学研究所の研究を紹介する大型風洞実験装置を使った温室の空気の流れや、バイオマスに関する大型紙芝居、など工夫を凝らした展示を行いました。

この他、例年人気のコーナーである「水を使った体験コーナー」や、ミニ講演会、さらに「春の草花を使った葉作りコーナー」では、身近な草花でも美しい押し花と葉が作れることを知っていただくため、所内に自生していたスマレ草などを用意し、子どもや女性に大人気でした。

農工研では来年度もまた、皆様に喜んで頂ける一般公開を企画し、皆様とのふれあいを大切にしながら、研究成果へのご理解をいただけるよう努力して参ります。



津波が激しく堤防に衝突する様子を真剣に見つめる見学者



液状化の原理を実験で確かめる中学生